

事業所名		こども発達未来スタジオippo 木原教室				支援プログラム（放課後等デイサービス）				作成日		令和8	年	7	月	1	日	
法人（事業所）理念		「成長起点、人生にきっかけを。」																
支援方針		発達・成長の土台を“関わり”や“環境面”から整え、子どもの可能性の芽を見つけ、広げる																
営業時間		9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無		ありなし						
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	■自立に向かう生活力の育成 ・活動に必要な物品の選択・準備から、使用後の適切な整理整頓までを、一連のルーティンとして定着させるための働きかけを行う。 ・スモールステップでの支援を実施し、「活動に取り組むための土台となる力」の向上を目指す。																
	運動・感覚	■身体の使い方を社会生活へ ・様々な運動プログラムを通じ、多角的なボディイメージを養うための働きかけを行う。 ・着席保持や集中力の継続といった学習基盤の構築に向けた支援を実施する。																
	認知・行動	■学校・社会に必要な行動力 ・興味関心に基づいた個別課題（読み書き、創作、パズル等）を通じ、目的を持って机に向かう姿勢の育成を行う。 ・単なる静止ではなく、一つの事柄に深く取り組む「没頭する力」の定着に向けた支援を実施する。																
	言語 コミュニケーション	■人とつながるための言葉の力 ・職員が適切な仲介役となり、対人スキルに関する助言や共有を行う。 ・成功体験のみならず、葛藤や失敗も貴重な学びとして共有し、対人関係の調整力を高めるための支援を実施する。																
	人間関係 社会性	■社会参加につながる力 ・他者と公平に競い・協力する基礎を養うためのプログラムを実施する。 ・ルールを「守られるもの」から「公平に活動を楽しむための約束事」へと捉え直すための働きかけを行う。																
家族支援		はじめて療育を利用する保護者様の想いを受け止め、共に関わり方や支援方法の検討を行う。不安や疑問を即座に相談できる体制を整え、「一人で抱え込まない」ための支援を実施する。							移行支援		就学・進級・進学等の環境の変化に向けて、家庭・学校・関係機関と連携し、子どもが安心して次のステップへ移行できるよう支援を行う。							
地域支援・地域連携		家庭・園や学校・関係機関と連携し、情報共有を大切にしながら、子どもが安心して地域で生活できる力を育む。公共施設の利用や外出体験等を通して、社会経験を広げる支援を行う。							職員の質の向上		定期的に行う全体会議や研修を通じて、職員の資質向上・支援の方向性の共有を行なっているまた、障がいへの理解・職員個人の能力向上を目的とした福祉専門eラーニングシステムを活用し、全スタッフ動画講座の受講を必須としている。							
主な行事等		■からだであそぶ！ チャレンジデー：公園遊び・室内遊具遊び・プールなどで体と感覚を育てる。■つくって伝える！ 気持ちアート：制作活動を通して気持ちや好きなことを表現し、「伝わる」「聞いてもらえる」経験につなげる。■みんなのできるもん！ お友達とクッキング体験・工程のある活動に取り組み、見通しをもって行動する力や達成感を育てる。■ippoフレンドパーク：チームで楽しむ「協力ミッション」・小集団での活動を通し、人と関わりながら一緒に取り組む経験を大切にする。■いっぽでGO：公園や地域施設での体験を通して、季節や環境への興味を広げる。																